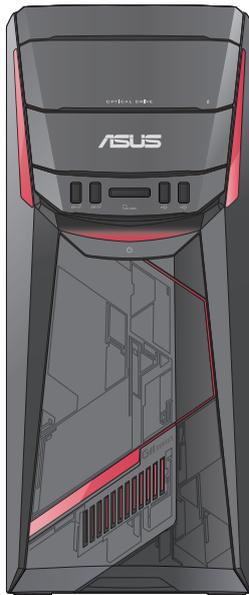




デスクトップPC G11DF ユーザーマニュアル



J12702

初版

2017年7月

Copyright © 2017 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS) の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1) ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2) 製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害(利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む)に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容は変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

もくじ

ご注意	4
安全上のご注意	8
パッケージの内容	10

Chapter 1 ハードウェアの概要

ようこそ	11
製品の概要	11
コンピューターのセットアップ	15
コンピューターの電源をONにする	16
初めて使用する	17

Chapter 2 Windows® 10 の使用

スタートメニュー	18
Windows® アプリ	21
タスクビュー	23
スナップ機能	24
アクションセンター	25
その他キーボードのショートカット	26
コンピューターの電源をオフにする	27
コンピューターをスリープ状態にする	27

Chapter 3 コンピューターへの各デバイスの接続

USBストレージデバイスへの接続	31
マイクとスピーカーの接続	32
複数の外付けディスプレイの接続	35
HDテレビの接続	36

Chapter 4 コンピューターの使用

デスクトップPCを使用する際の正しい姿勢	37
光学ドライブの使用	38

Chapter 5 インターネットへの接続

有線接続	39
Wi-Fi 接続 (搭載モデルのみ)	42

Chapter 6 トラブルシューティング

トラブルシューティング	43
-------------------	----

ご注意

ASUS Recycling/Takeback Services (原文)

ASUS recycling and takeback programs come from our commitment to the highest standards for protecting our environment. We believe in providing solutions for you to be able to responsibly recycle our products, batteries, other components, as well as the packaging materials. Please go to <http://csr.asus.com/english/Takeback.htm> for the detailed recycling information in different regions.

REACH (原文)

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>

Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference; and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

リチウムバッテリーに付いての警告

警告: バッテリーの交換は正しく行わないと破裂の原因となります。バッテリーは製造元が指定するもの、またはそれに相当するものをご使用ください。バッテリー廃棄の際は、製造元の指示に従ってください。

RF Equipment Notices

CE: European Community Compliance Statement

The equipment complies with the RF Exposure Requirement 1999/519/EC, Council Recommendation of 12 July 1999 on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields (0–300 GHz). This wireless device complies with the R&TTE Directive.

Wireless Radio Use

This device is restricted to indoor use when operating in the 5.15 to 5.25 GHz frequency band.

Exposure to Radio Frequency Energy

The radiated output power of the Wi-Fi technology is below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, it is advised to use the wireless equipment in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

FCC Bluetooth Wireless Compliance

The antenna used with this transmitter must not be colocated or operated in conjunction with any other antenna or transmitter subject to the conditions of the FCC Grant.

Bluetooth Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil numérique de la Class B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

BSMI: Taiwan Wireless Statement

無線設備的警告聲明

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更射頻、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信指依電信法規定作業之無線通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

於 5.25GHz 至 5.35GHz 區域內操作之
無線設備的警告聲明

工作頻率 5.250 ~ 5.350GHz 該頻段限於室內使用。

Japan RF Equipment Statement

この製品は、周波数帯域5.15～5.35GHzで動作しているときは、屋内においてのみ使用可能です。

KC (RF Equipment)

대한민국 규정 및 준수

방통위고시에 따른 고지사항

해당 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음,

이 기기는 인명안전과 관련된 서비스에 사용할 수 없습니다.

KC (RF Equipment)

대한민국 규정 및 준수

방통위고시에 따른 고지사항

해당 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음,

이 기기는 인명안전과 관련된 서비스에 사용할 수 없습니다.

India E-waste (Management) Rules 2016

This product complies with the "India E-Waste (Management) Rules, 2016" and prohibits use of lead, mercury, hexavalent chromium, polybrominated biphenyls (PBBs) and polybrominated diphenyl ethers (PBDEs) in concentrations exceeding 0.1% by weight in homogenous materials and 0.01 % by weight in homogenous materials for cadmium, except for the exemptions listed in Schedule II of the Rule.

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートPC等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉碎され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

ASUSは各国の環境法等を満たし、またリサイクル従事者の作業の安全を図るよう、環境保護に関する厳しい基準を設定しております。ASUSのリサイクルに対する姿勢は、多方面において環境保護に大きく貢献しています。

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について



資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Mossとは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。

安全上のご注意



お手入れの前は、電源コードをコンセントと本機から外し、接続した周辺機器を全て本機から取り外してください。お手入れの際は、研磨剤を含まない洗剤とぬるま湯を数滴セルローススポンジまたはクリーニングクロスに含ませ、本機の表面の汚れを優しく拭き取った後、乾いた布で余分な水気を拭き取ってください。

- 本製品は安定した場所に設置してください。筐体が破損した場合には弊社コールセンターにご相談ください。
- 埃の多い場所や不衛生な場所でのご使用はお避けください。ガス漏れの危険性のある場所でのご使用はお避けください。
- 本機の上に物を置かないでください。本機の上に物を落下させないでください。本機の内部に物を入れないでください。
- 本機を強い磁気の発生する場所や電界に設置しないでください。
- 湿気のある場所で本機を使用しないでください。雷発生時、または雷発生の恐れがあるときは本機を使用しないでください。
- バッテリーについての警告: バッテリーを火気に投じないでください。コネクター部をショートさせないでください。バッテリーを分解しないでください。
- 動作可能な温度環境は周囲温度 0℃～35℃です。
- ケースの開口部は通気孔です。紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔を塞がないようにしてください。オーバーヒートの原因となります。
- 破損した電源コード、アクセサリ、周辺機器を使用しないでください。
- 感電を防ぐため、本機を移動する際は電源ケーブルをコンセントから外してください。
- 電源延長コードや特殊なアダプターを用いる場合は専門家に相談してください。これらは、回路のショート等の原因になる場合があります。
- 正しい電圧でご使用ください。ご使用になる地域の出力電圧がわからない場合は、お近くの電力会社にお尋ねください。電源装置に115Vと230Vの電圧切替スイッチが存在する場合、日本国内では115Vの設定で使用します。
- 電源装置の修理は弊社コールセンターに依頼してください。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱い頂くために以下の表記を参考にしてください。



危険/警告: 本製品を取り扱う上で、人体への危険を避けるための情報です。



注意: 本製品を取り扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。



重要: 作業を完了させるために、従わなければならない指示です。



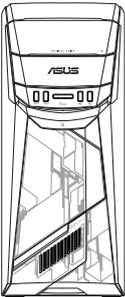
注記: 本製品を取り扱う上でのヒントと追加情報です。

詳細情報

本書に記載できなかった最新の情報は以下で入手することができます。また、BIOSや添付ソフトウェアの最新版があります。必要に応じてご利用ください。

1. **ASUS公式サイト** (<http://www.asus.com/jp/>)
各国や地域に対応したサイトを設け、ASUSのハードウェア・ソフトウェア製品に関する最新情報が満載です。
2. **ASUS Local Technical Support**
国内テクニカルサポートご利用の際は、ASUSサポートサイトでサポートセンターの連絡先をご確認ください。
<http://www.asus.com/jp/support/>

パッケージの内容

		
デスクトップPC G11DF	キーボード×1 (特定モデルのみ)	マウス×1 (特定モデルのみ)
		
電源コード×1	クイックスタートガイド×1	保証書×1



- 万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。
- 本書に記載の図や写真は一例です。実際とは異なる場合があります。また、実際の製品仕様はモデルにより異なります。
- パッケージ内容はモデルやお使いの国や地域により、異なる場合があります。

Chapter 1

ハードウェアの概要

ようこそ

本デスクトップPCをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品はスタイリッシュなケースの内部に優れたパフォーマンスと卓越した安定性、使用し易いユーティリティを提供するASUSの高品質デスクトップPCです。



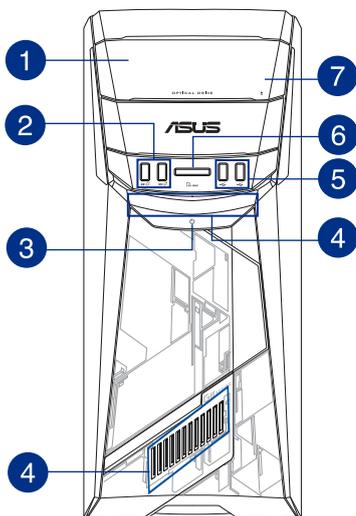
本製品を設置する前に製品保証書を必ずご一読ください。

製品の概要



本書に記載の図や写真は一例です。各ポートとその配置、ケースの色等はモデルにより異なります。

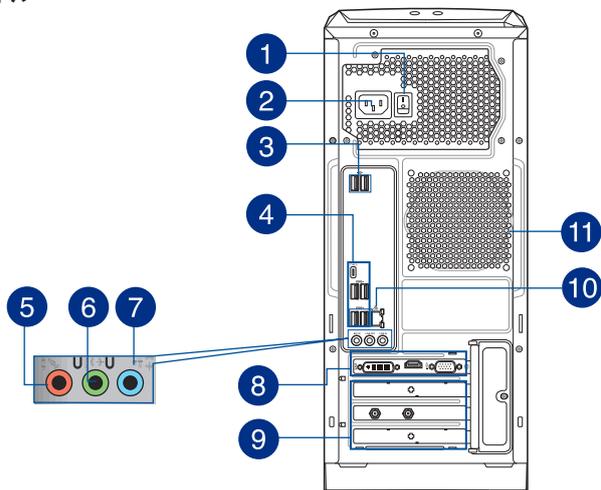
フロントパネル



- 1 **光学ディスクドライブベイ:** 光学ディスクドライブ設置用のベイです。
- 2 **USB 3.1 Gen2 ポート:** マウスやプリンター、スキャナー、カメラ、PDA等のUSB 3.1 Gen2 対応デバイスを接続することができます。

 - Windows® OSのインストール作業中はキーボード / マウスをこちらのポートに接続しないでください。
 - USB 3.1 Gen2コントローラーの性質上、USB 3.1 Gen2デバイスはUSB 3.1 Gen2ドライバーインストール済みのWindows® OS環境以外では使用できません。
 - パフォーマンスの観点から、USB 3.1 Gen2デバイスはUSB 3.1 Gen2ポートに接続することを強くお勧めします。
- 3 **電源ボタン:** このボタンを押してコンピューターの電源をONにします。
- 4 **LEDライティング:** Windows® OS上の設定画面でライティング効果をカスタマイズすることができます。色々なパターンでのLEDライティングが楽しみいただけます。
- 5 **USB 2.0 ポート:** マウスやプリンター、スキャナー、カメラ、PDA等のUSB 2.0対応デバイスを接続することができます。
- 6 **MultiMediaCard (MMC) / xD-Picture (XD) / Secure Digital™ (SD) / High Capacity Secure Digital™ (SDHC) / Memory Stick Pro™ (MS/PRO) カードリーダー:** 対応メモリーカードスロットを挿入します。
- 7 **光学ディスクドライブ・イジェクトボタン:** このボタンを押すと光学ディスクドライブのトレイが出てきます。

バックパネル



- 1 電圧切り替えスイッチ:** お住まいの地域のシステム入力電圧を選択します。日本国内では115Vの設定で使用します。



入力電圧を誤ると、コンピューターの故障の原因となる恐れがあります。ご注意ください。このスイッチは特定モデルのみ搭載されています。スイッチが無いモデルでは、自動的に電圧が正しい値に設定されます。

- 2 電源コネクタ:** 電源コードを接続します。



デスクトップPCの定格電力は、各地域により定められています。

- CB/ETL: (1)110-120Vac/220-240Vac、6A/3A、50-60Hz
- (2) 110-120Vac、6A、50-60Hz

- 3 USB 2.0 ポート:** マウスやプリンター、スキャナー、カメラ、PDA等のUSB 2.0対応デバイスを接続することができます。

- 4 USB 3.0 (USB3.1 Gen1) ポート:** USB 3.1 Gen1ポートです。USB 3.1/ 3.0/ 2.0デバイスを接続します。



- Windows® OSのインストール作業中はキーボード / マウスをこちらのポートに接続しないでください。
- USB 3.0 (USB 3.1 Gen1) コントローラーの性質上、USB 3.0 (USB 3.1 Gen1) デバイスはUSB 3.0 (USB 3.1 Gen1) ドライバーインストール済みのWindows® OS環境以外では使用できません。
- パフォーマンスの観点から、USB 3.0 (USB 3.1 Gen1) デバイスはUSB 3.0 (USB 3.1 Gen1) ポートに接続することを強くお勧めします。

- 5 **マイクポート (ピンク)**: マイクを接続します。
- 6 **ライン出力ポート (ライム)**: ヘッドホンやスピーカーを接続します。4、5.1、7.1チャンネルの出力設定のときは、このポートはフロントスピーカー出力になります。
- 7 **ライン入力ポート (ライトブルー)**: テープ、CD、DVDプレーヤー、またはその他のオーディオソースを接続します。



2、4、5.1、7.1チャンネル構成時のオーディオポートの機能については、次のオーディオ構成表を参考にしてください。

オーディオ構成表

ポート	ヘッドセット 2チャンネル	4チャンネル	5チャンネル	7チャンネル
ライトブルー (リアパネル)	ライン入力	リアスピーカー 出力	リアスピーカー 出力	リアスピーカー出力
ライム (リアパネル)	ライン出力	フロント スピーカー出力	フロント スピーカー出力	フロント スピーカー出力
ピンク (リアパネル)	マイク入力	マイク入力	バス/センター	バス/センター
フロントパネル	-	-	-	サイド スピーカー出力

- 8 **ASUS製ビデオカード (特定モデルのみ)**: ASUS製ビデオカード (オプション) のディスプレイ出力ポートはモデルにより異なります。
- 9 **拡張スロットブラケット**: 拡張カードを装着する際はこのブラケットを取り外します。
- 10 **LAN (RJ-45) ポート**: ネットワークハブを通して、LANでのGigabit 接続をサポートします。LANポートLEDの表示内容は次の表をご参照ください。

LANポートLED:

アクティビティ/リンクLED		スピードLED	
状態	説明	状態	説明
OFF	リンクなし	OFF	10 Mbps
オレンジ	リンク確立	オレンジ	10.0Mbps
点滅	データ送信中	グリーン	1 Gbps

アクティビティ/
リンクLED スピード
LED



LANポート

- 11 **通気孔**: システム内部の熱を外部へ逃がします。



紙、本、衣類、ケーブルまたはその他の物で通気孔を塞がないようにしてください。オーバーヒートの原因となります。

コンピューターのセットアップ

このセクションでは、外付けディスプレイやキーボード、マウス、電源コード等をコンピューターに接続する方法を説明します。

外付けディスプレイの接続

ASUS製ビデオカードの使用 (特定モデルのみ)

ディスプレイをASUS製ディスクリートビデオカードのディスプレイ出力ポートに接続します。

手順

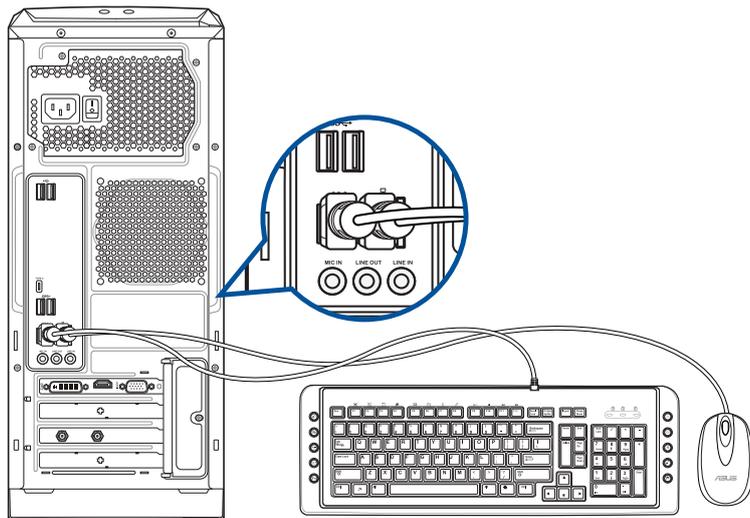
1. ディスプレイをASUS製ビデオカードのディスプレイ出力ポートに接続します。
2. ディスプレイの電源コードをコンセントに接続します。



ASUS製ビデオカード (オプション) のディスプレイ出力ポートはモデルにより異なります。

USBキーボードとUSBマウスの接続

USBキーボードとUSBマウスをコンピューターのバックパネルのUSBポートに接続します。



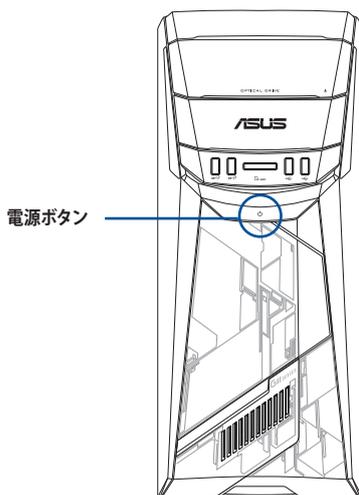
コンピューターの電源をONにする

このセクションではコンピューターの電源の切り替えについて説明します。

コンピューターの電源をONにする

手順

1. ディスプレイの電源をONにします。
2. コンピューターの電源ボタンを押します。



3. OSが自動的にロードされます。

Chapter 2

Windows® 10 の使用

初めて使用する

コンピューターを初めて使用するときは、Windows® 10 OSの基本設定を行う設定画面が表示されます。

設定手順

1. パソコンの電源ボタンを押します。設定画面が表示されるので、暫くお待ちください。
2. 設定画面から本機で使用する言語やモデルによっては地域、キーボードレイアウトなどを選択します。
3. ライセンス条項を読み、内容を確認します。「**承諾する**」を選択します。
4. 画面上に指示に従い、以下などの表示される各基本設定を行います。
 - ネットワーク接続
 - 設定
 - このPC用のアカウントの作成
 - 製品を登録する
5. 基本設定が完了すると、パソコンのセットアップが始まります。
6. セットアップが完了すると、Windows®の操作が開始できます。



-
- 本マニュアルに記載の図や画面は参考用です。
 - ご使用の国や地域、環境、モデルなどにより、手順に差異がある場合があります。その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。
-

スタートメニュー

スタートメニューでは、プログラムやWindows®アプリ、フォルダー、設定などに簡単にアクセスすることができます。



モデルにより、表示されるユーザーインターフェイスが異なる場合があります。

スタート画面からアプリを起動

アカウント設定の変更、ロック、アカウントからサインアウト

スタート画面からアプリを起動

Cortanaを起動

スタートメニューの起動

すべてのアプリを起動

タスクビューを起動

タスクバーからアプリを起動

シャットダウン、再起動、スリープ状態への移行

設定を起動

エクスプローラーを起動

アカウント設定の変更、ロック、アカウントからサインアウト

The image shows a Windows 10 Start menu with several red lines and boxes highlighting specific areas. The labels and their corresponding actions are as follows:

- スタートメニューの表示**: Points to the Start button (Windows logo) in the taskbar.
- スタート画面からアプリを起動**: Points to the Start menu grid of application tiles.
- Cortanaを起動**: Points to the Cortana search bar in the taskbar.
- スタートメニューの起動**: Points to the Start button in the taskbar.
- タスクビューを起動**: Points to the Task View button (four squares) in the taskbar.
- タスクバーからアプリを起動**: Points to the application icons in the taskbar.

Below the screenshot, the following text is displayed:

シャットダウン、再起動、スリープ状態への移行
設定を起動

スタートメニューからできる操作:

- プログラムやWindows® アプリの起動
- 一般的に使用されるプログラムやWindows® アプリの起動
- 本機の各種設定の変更
- Windows® OSのヘルプ
- 本機の電源オフ
- Windows® からのログオフ、または別のユーザーアカウントへの切り替え

スタートメニューを起動する



デスクトップの左下にあるスタートボタン  の上にマウスポインターを合わせ、クリックします。



キーボードのWindows® ロゴキー  を押します。

スタートメニューからプログラムを開く

スタートメニューの最も一般的な用途は、本機にインストールされているプログラムを開くことです。



プログラムの上にマウスポインターを合わせ、クリックし起動します。



プログラムを参照するには、矢印キーを使用します。  を押し起動します。



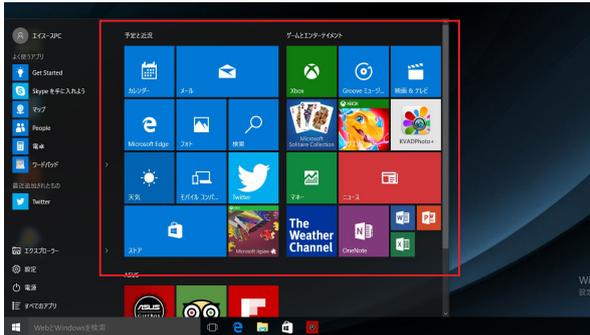
-
- 左側のペインの下に「すべてのアプリ」が表示されている場合は、そちらを選択すると、アルファベット順に本機上のプログラムやフォルダの一覧が表示されます。
 - モデルによっては代わりに「よく使うアプリ」が表示されており、そちら以降に、よく使うアプリ、そして、アルファベット順に本機上のプログラムやフォルダの一覧が表示されています。
-

Windows® アプリ

これらのアプリはスタートメニューの右側のペインにピン留めされ、タイル形式で簡単にアクセス可能です。



特定のWindows® アプリはその機能を十分活用するため、Microsoftアカウントでのサインインが必要になる場合があります。



Windows®アプリと一緒に使用する

タッチパッド、キーボードを使用し、アプリの起動やカスタマイズ、また、アプリを終了することができます。

スタートメニューからWindows® アプリを起動する



アプリの上にマウスポインターを合わせ、クリックし起動します。



アプリを参照するには、矢印キーを使用します。  を押して起動します。

Windows® アプリのカスタマイズ

スタートメニューでアプリの移動、サイズ変更、タスクバーからのピン留め、ピン留めの解除などが可能です。次の手順で行います。

アプリの移動

- 1 アプリの上にマウスのポインターを合わせ、ドラッグ&ドロップして起動します。

アプリのサイズ変更

- 1 アプリの上にマウスポインターを合わせ、右クリックして、「サイズ変更」をクリックし、アプリのタイトルサイズを選択します。



矢印キーでアプリを参照します。

または + (特定モデルのみ) を押し、「サイズ変更」をクリックし、アプリのタイトルサイズを選択します。

ピン留めの解除

- 1 アプリの上にマウスのポインターを合わせ、右クリックし、「スタート画面 (特定モデルでは「スタート」) からピン留めを外す」をクリックします。



矢印キーでアプリを参照します。

または + (特定モデルのみ) を押し、「スタート画面 (特定モデルでは「スタート」) からピン留めを外す」を選択します。

タスクトレイにアプリをピン留めする

- 1 アプリの上にマウスのポインターを合わせ、右クリックし、「その他」→「タスクバーにピン留めする」をクリックします。



矢印キーでアプリを参照します。 または + (特定モデルのみ) を押し、「その他」→「タスクバーにピン留めする」を選択します。

スタートメニューへのアプリの追加

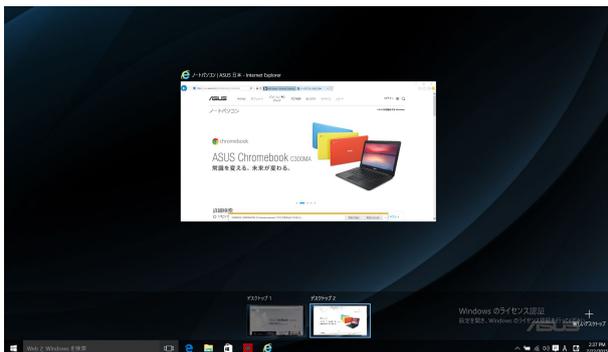
- 1 「すべてのアプリ」(モデルによっては「よく使うアプリ」以降) から、スタートメニューに追加したいアプリの上にマウスポインターを合わせ、右クリックし「スタート画面 (特定モデルでは「スタート」) にピン留めする」をクリックします。



「すべてのアプリ」から を押し、またはスタートメニューに追加したいアプリの上で + (特定モデルのみ) を押し、「スタート画面 (特定モデルでは「スタート」) にピン留めする」をクリックします。

タスクビュー

タスクビュー機能では、起動中のアプリとプログラムの切り替えが簡単にできます。また、デスクトップの切り替えも可能です。



タスクビューの起動



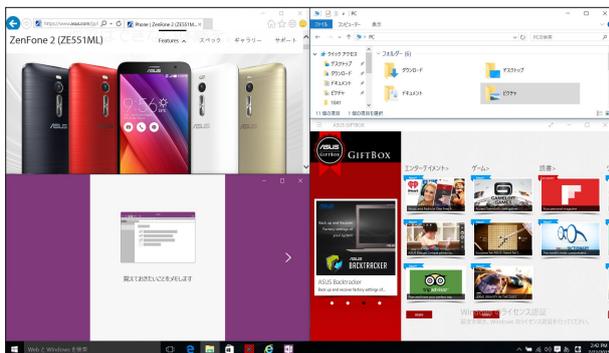
タスクバー上の  アイコンの上にマウスのポインターを合わせ、クリックします。



キーボード上の  +  を押します。

スナップ機能

アプリを同時に操作することができます。この機能を有効にすると、スナップした際にサイドバーが表示され、ディスプレイを分割します。



スナップホットスポット

ホットスポットにアプリをドラッグ&ドロップし、スナップ表示することができます。



スナップを有効にする



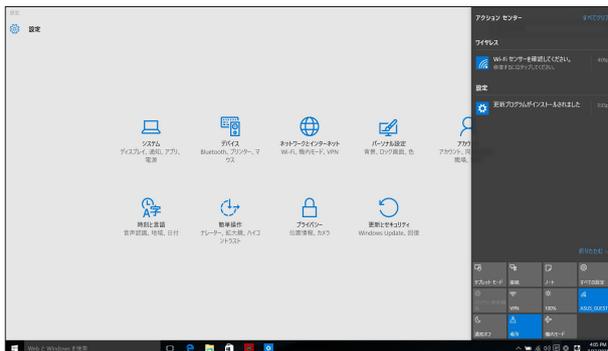
1. アプリを起動します。
2. アプリのタイトルバーをドラッグし、画面の端にアプリをドロップしスナップ表示します。
3. 他のアプリをスナップ表示するには、他のアプリを起動し、上記の手順を繰り返します。



1. アプリを起動します。
2.  を長押しし、矢印キーでアプリをスナップ表示します。
3. 他のアプリをスナップ表示するには、他のアプリを起動し、上記の手順を繰り返します。

アクションセンター

アクションセンターでは、アプリからの通知が一括表示されます。また、下部には大変便利なクイックアクションセクションがあります。



アクションセンターの起動



タスクバー上の  アイコンの上にマウスのポインターを合わせ、クリックします。



モデルによっては、アイコンは  になります。



キーボード上の  +  を押します。

その他キーボードのショートカット

次のショートカットを使用し、アプリケーションの起動やWindows® 10の操作が可能です。



スタートメニューを起動します。



アクションセンターを起動します。



デスクトップを起動します。



エクスプローラーを起動します。



設定を起動します。



「接続」画面を起動します。



ロック画面を有効にします。



アクティブウィンドウを最小化します。



検索を起動します。



「表示」画面を開きます。



「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開きます。



「コンピューターの簡単操作センター」を開きます。



スタートボタンのコンテキストメニューを開きます。

コンピューターの電源をオフにする

次のいずれかの手順で本機の電源をオフにすることができます。

- 
 - スタートメニューを起動し、 → 「シャットダウン」を選択し、シャットダウンします。
 - ログイン画面で  → 「シャットダウン」の順に選択します。
- 
 -  +  を押し、シャットダウンウィンドウを開きます。ドロップダウンリストから「シャットダウン」を選択し、「OK」を選択します。
 - システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを4秒 (モデルによっては10秒) 以上押し、強制終了することができます。

コンピューターをスリープ状態にする

次のいずれかの手順で本機の電源をスリープ状態にすることができます。

- 
 - スタートメニューを起動し、 → 「スリープ」の順に選択します。
 - ログイン画面で  → 「スリープ」の順に選択します。
-   +  を押し、シャットダウンウィンドウを開きます。ドロップダウンリストから「スリープ」を選択し、「OK」を選択します。



設定によっては電源ボタンを1度押しでもスリープに移行することができます。

システムをリカバリーする

本機の回復オプションを使用すると、システムを元の状態に復元する、または設定を更新しパフォーマンスを向上させることができます。



- 回復オプションを実行する際は、事前にすべてのデータファイルをバックアップしてください。
- ネットワーク設定やユーザー名、パスワードなどの重要な設定は、メモを取る等して大切に保存してください。
- 本機のリセットを行う前に、本機がACアダプターで電源に接続されていることをご確認ください。

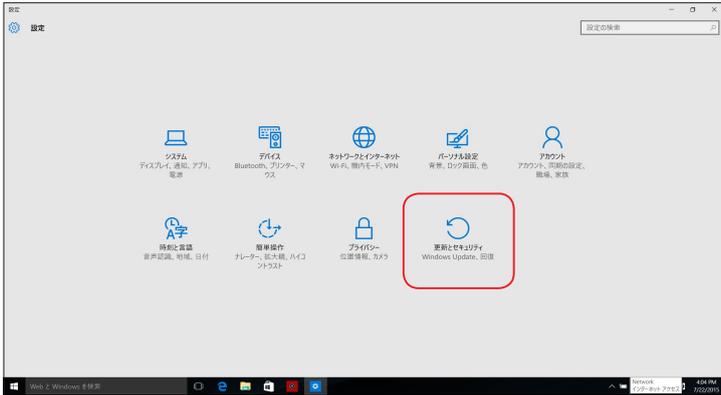
Windows®10では次のトラブルシューティングを利用することができます。

- **個人用ファイルを保持する** - このオプションは、個人ファイル (写真、音楽、ビデオ、ドキュメント) に影響を与えずにWindowsが再インストールされます。
このオプションを使用すると、本機をデフォルト設定に戻し、インストールした他のアプリを削除します。
- **すべて削除する** - このオプションは、工場出荷時の設定に本機をリセットします。このオプションを実行する際は、事前にデータのバックアップを実行してください。
- **以前のビルドに戻す** - このオプションは、以前のビルドに戻ることができます。
- **PCの起動をカスタマイズする** - このオプションを使用すると、次のような高度な回復オプションを実行することができます。
 - 「**トラブルシューティング**」を使用し、次のうちの任意の回復オプションを利用することができます。
システムの復元、イメージでシステムを回復、スタートアップ修復、コマンドプロンプト、UEFI ファームウェアの設定、スタートアップ設定

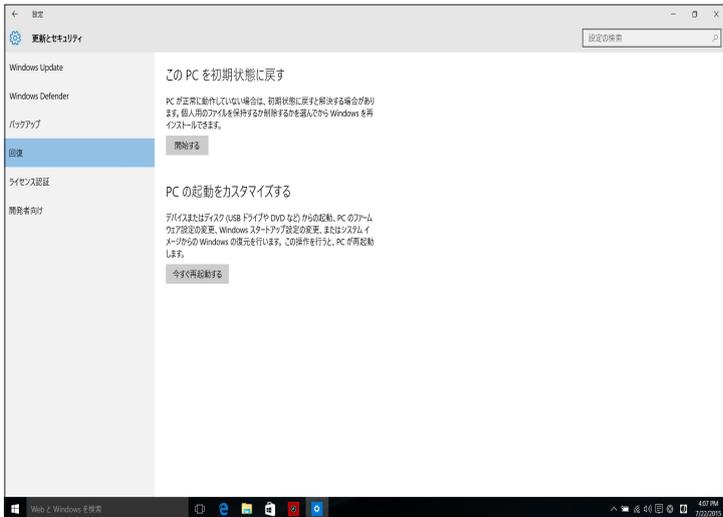
回復オプションを実行する

次の手順に従って、利用可能な回復オプションを実行します。

1. 「設定」を起動し、「更新とセキュリティ」を選択します。



2. 「更新とセキュリティ」オプションで「回復」を選択し、回復オプションを選択し任意の項目を実行します。



Chapter 3

コンピューターへの各デバイスの接続

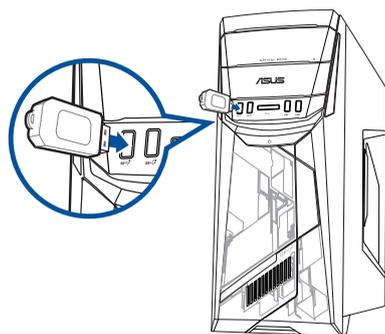
USBストレージデバイスへの接続

本デスクトップPCは、フロントパネルとバックパネルにUSBポートが搭載されています。これらUSBポートにストレージデバイス等のUSBデバイスを接続することができます。

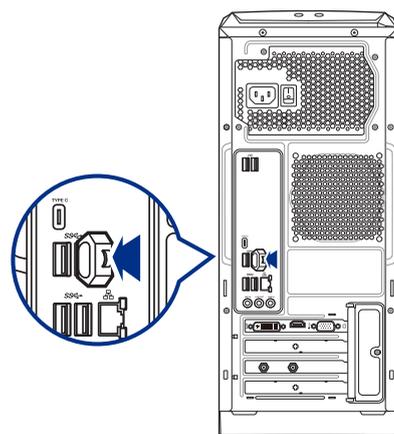
手順

- USBストレージデバイスをコンピューターに接続します。

フロントパネル



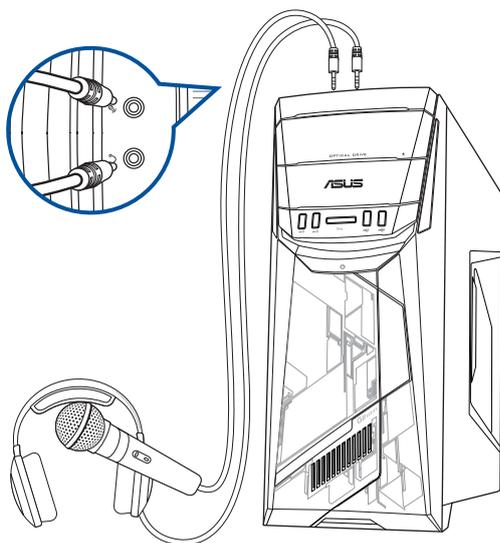
バックパネル



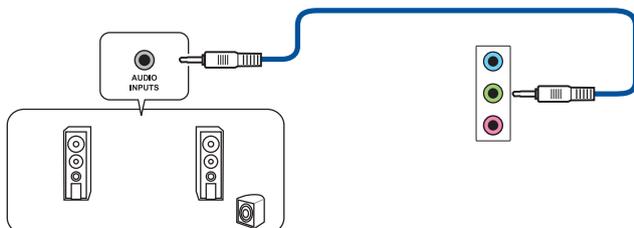
マイクとスピーカーの接続

本デスクトップPCは、フロントパネルとバックパネルの両方にマイクポートとスピーカーポートが搭載されています。バックパネルに搭載のオーディオI/Oポートなどで2チャンネル、4チャンネル、5.1チャンネル、7.1チャンネルステレオスピーカーを接続することができます。

ヘッドホンとマイクの接続

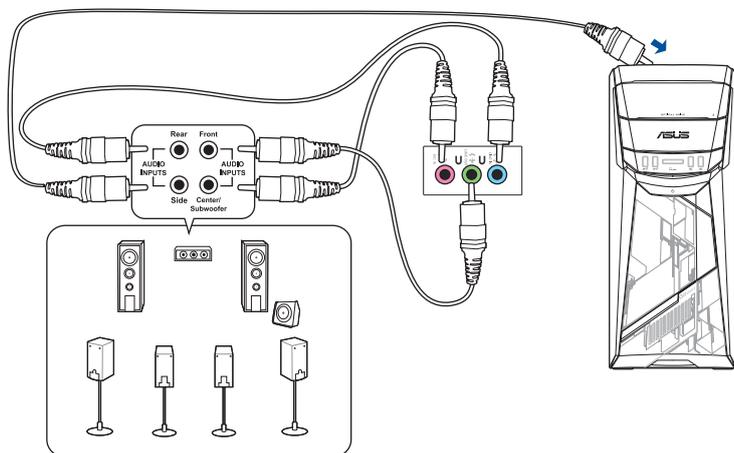


2チャンネルスピーカーの接続



ご利用いただくスピーカーの機能により、2.1チャンネルでご利用頂けます。

7.1チャンネルスピーカーの接続



複数の外付けディスプレイの接続

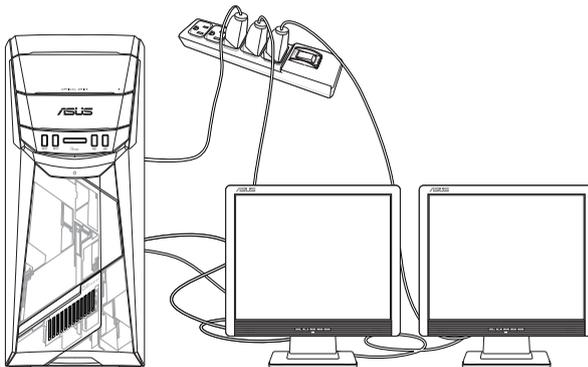
デスクトップPCIにはVGAポート、HDMIポートなどが搭載されており、複数の外付けディスプレイを接続することができます。

複数のディスプレイのセットアップ

複数のディスプレイを使用する場合、ディスプレイモードを設定することができます。追加のディスプレイにメインディスプレイと同じ映像を複製して表示する、またはWindowsデスクトップを追加のディスプレイに拡張表示するといった設定が可能です。

手順

1. コンピューターの電源をOFFにします。
2. ディスプレイを2台コンピューターに接続し、ディスプレイの電源ケーブルをコンセントに接続します。ディスプレイをコンピューターへ接続する際はChapter 1のセクション「コンピューターのセットアップ」を参照ください。



3. コンピューターの電源をONにします。
4. スタートメニューから「設定」→「システム」→「ディスプレイ」の順に開きます。
5. ディスプレイの設定を行います。



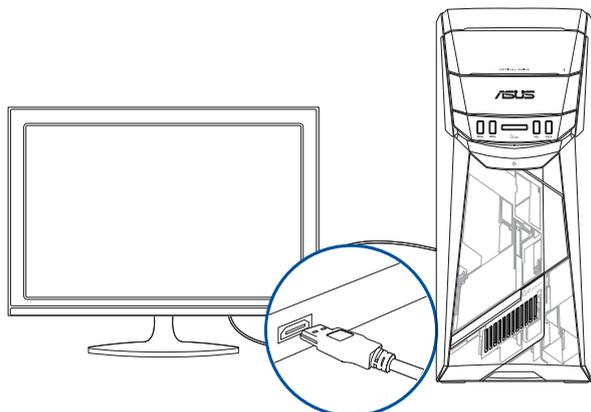
特定のビデオカードでは、プライマリーディスプレイデバイスに設定したディスプレイ以外はPOST画面が表示されない場合があります。デュアルディスプレイ機能はWindows環境でのみ利用可能となります。

HDテレビの接続

HDテレビをコンピューターのHDMIポートに接続します。



- HDテレビとコンピューターの接続にはHDMIケーブル1本が必要です。HDMIケーブルは別途お買い求めください。
- ディスプレイパフォーマンスの観点から、HDMIケーブルは長さ15メートル未満のものをご使用ください。特定のビデオカード搭載モデルでは、HDMIケーブルをパソコン側に接続する際に変換コネクタが必要になります。



Chapter 4

コンピューターの使用

デスクトップPCを使用する際の正しい姿勢

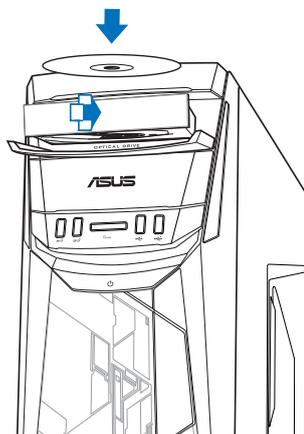
デスクトップPCを使用する際は、手や手首、肘、筋肉等の肉体疲労を軽減するため、正しい姿勢を維持するよう心がけてください。本セクションでは肉体疲労の軽減とケガを防止するためのアドバイスを記載しました。



正しい姿勢の維持

- 椅子の高さはタイピングがし易いよう、肘の高さがキーボードと同じかやや上になるように調節します。
- 椅子の高さは大腿部が張らないよう、膝の高さが腰より高くなるように調節します。必要に応じ、フットレストを使用し高さを調節します。
- 椅子の背もたれは、背中をしっかりと支え、背中がわずかに後方にもたれるよう調節します。
- コンピューター使用時は膝、肘、腰を直角にした状態で背筋を伸ばして座ります。
- ディスプレイは目の前に設置し、ディスプレイ画面の上部の高さを、視線がわずかに下向きになるよう調節します。
- マウスをキーボードの近くに置き、必要に応じて、タイピング時の手首への圧力を軽減するためリストレストを使用します。
- 適切な明るさの環境でデスクトップPCを使用します。窓際や日光が直接当たる場所での使用は避けます。
- 定期的に休憩を取りながらデスクトップPCを使用します。

光学ドライブの使用



光学ディスクの挿入

手順

1. システムの電源がONの状態ドライブベイにあるイジェクトボタンを押し、トレイを開きます。
2. ディスクのラベルを上に向け、ディスクを光学ドライブに入れます。
3. トレイをゆっくり押しつけて閉じます。
4. 自動再生ウインドウからプログラムを選択します。



コンピュータで自動再生機能が有効になっていない場合に、光学ドライブにアクセスするには、「エクスプローラー」を開き、そこから光学ドライブにアクセスしてください。

光学ディスクの取り外し

手順

1. システムの電源がONの状態でのいずれかの操作を行いトレイを開きます。
 - ドライブベイカバーにあるイジェクトボタンを押します。
 - 「エクスプローラー」からCD/DVDドライブアイコンを右クリックし、「取り外し」をクリックします。
2. ディスクをトレイから取り出します。

Chapter 5

インターネットへの接続

有線接続

RJ-45ケーブル (LANケーブル) でコンピューターをDSL/ケーブルモデムまたはローカルエリアネットワーク (LAN) に接続します。

DSL/ケーブルモデム経由での接続

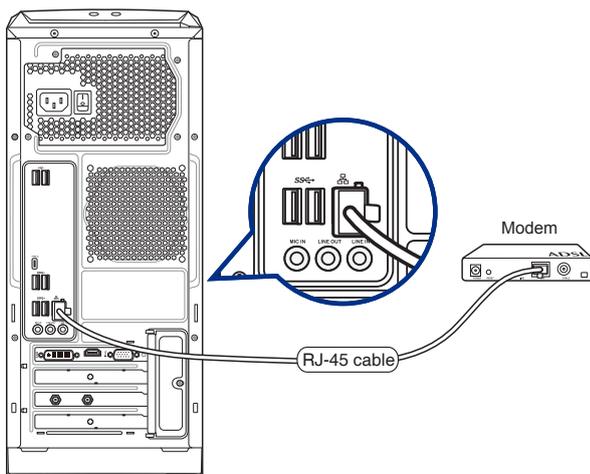
手順

1. DSL/ケーブルモデムをセットアップします。



セットアップに際しては、DSL/ケーブルモデムに付属のドキュメントを併せてご参照ください。

2. RJ-45ケーブル (LANケーブル) の一端をコンピューターのバックパネルのRJ-45ポート (LANポート) に接続し、もう一方をDSL/ケーブルモデムに接続します。



3. DSL/ケーブルモデムとコンピューターの電源をONにします。
4. 必要なインターネット接続の設定を行います。

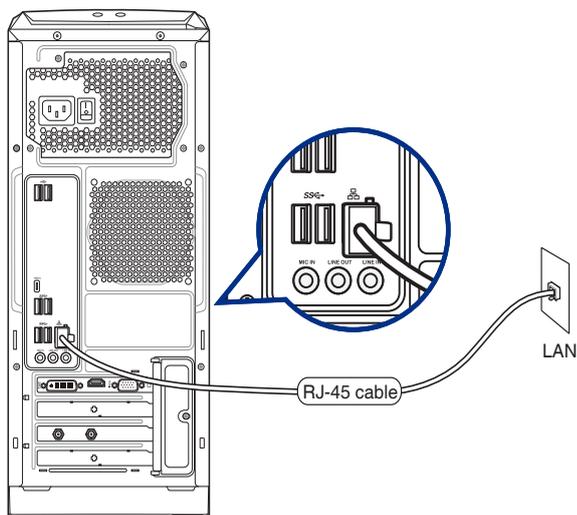


- 詳細はセクション「動的IP (ダイナミックIP) ネットワーク接続の設定」または「静的IP (スタティックIP) ネットワーク接続の設定」をご参照ください。
- インターネット接続のセットアップの詳細、技術サポートは、サービスプロバイダー (ISP) にご相談ください。

ローカルエリアネットワーク (LAN) 経由の接続

手順

1. RJ-45ケーブル (LANケーブル) の一端をコンピューターのフロントパネルのRJ-45ポート (LANポート) に接続し、もう一方をDSL/ケーブルモデムに接続します。



2. コンピューターの電源をONにします。
3. 必要なインターネット接続の設定を行います。



- 詳細はセクション「動的IP (ダイナミックIP) ネットワーク接続の設定」または「静的IP (スタティックIP) ネットワーク接続の設定」をご参照ください。
- インターネット接続のセットアップの詳細、技術サポートは、ネットワーク管理者にご相談ください。

動的IP (ダイナミックIP) ネットワーク接続の設定

手順

1. 「設定」を起動します。
2. 「ネットワークとインターネット」を選択します。
3. 「イーサネット」→「ネットワークと共有センター」を選択します。
4. お使いのLANを選択し、「プロパティ」を選択します。
5. 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」→「プロパティ」を選択します。
6. 「IPアドレスを自動的に取得する」→「OK」を選択します。



PPPoE接続を使用する場合は、次の手順に進んでください。

7. 「ネットワークと共有センター」に戻り、「新しい接続またはネットワークのセットアップ」を選択します。
8. 「インターネットに接続します」を選択し、「次へ」を選択します。
9. 「ブロードバンド (PPPoE)」を選択します。
10. ユーザー名、パスワード、接続名を入力し、「接続」を選択します。
11. 「閉じる」を選択し、設定を終了します。
12. タスクトレイの  を選択し、上の手順で作成した接続を選択します。
13. ユーザー名とパスワードを入力し、「接続」を選択し、インターネットへの接続を開始します。

静的IP (スタティックIP) ネットワーク接続の設定

手順

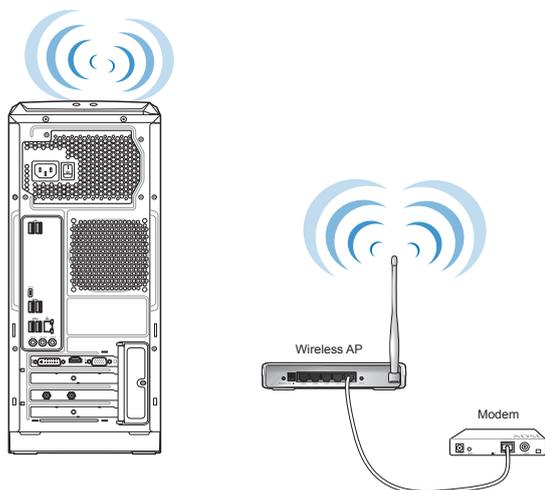
1. 動的IP/PPPoEのネットワーク接続の設定の手順1~5を行います。
2. 「次のIPアドレスを使う」を選択します。
3. ご利用のサービスプロバイダ提供のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。
4. 必要に応じ、優先DNSサーバーのアドレスと代替DNSサーバーのアドレスを入力し、「OK」を選択します。

Wi-Fi 接続 (搭載モデルのみ)

コンピューターをワイヤレス環境でインターネットに接続します。



ワイヤレス接続の構築には、ワイヤレスアクセスポイント (AP) に接続する必要があります。



ワイヤレス信号の受信感度を上げ、受信範囲を広げるため、外付けアンテナをASUS WLANカードのアンテナコネクタに接続します。(特定モデルのみ付属しています)

Chapter 6

トラブルシューティング

トラブルシューティング

このChapterではよく聞かれる質問とその解決方法を記載しました。

- ?** **コンピューターの電源がONにならず、フロントパネルの電源LEDも点灯しない。**
- コンピューターが正しく接続されていることをご確認ください。
 - コンセントに問題がないことをご確認ください。
 - 電源ユニットの電源がONであることをご確認ください。詳細は Chapter 1 セクション「**コンピューターの電源をONにする**」をご参照ください。
- ?** **コンピューターがフリーズする。**
- 次のいずれかの方法で応答していないプログラムを終了します。
 1. <Alt> + <Ctrl> + <Delete> キーを押し、「**タスクマネージャ**」を起動します。
 2. タスクマネージャの「**プロセス**」タブで、応答していないプログラムを選択し、「**タスクの終了**」をクリックします。
 - キーボードが反応しない場合は、ケース上部にある電源ボタンを長押しし、コンピューターを強制終了します。しばらくしてから電源ボタンを押し電源をONにしてください。
- ?** **ASUS WLANカード(特定モデルのみ)を使用してワイヤレスネットワークに接続できない。**
- 接続するワイヤレスネットワーク用の正しいネットワークセキュリティキーを入力してください。
 - 外付けアンテナ(特定モデルのみ)をASUS WLANカードのアンテナコネクタに接続し、アンテナをコンピューターのケース上に設置します。

? 数字キーボードのカーソルキーが動作しない。

Number Lock LEDがOFFになっていることをご確認ください。Number Lock LEDがONになっている場合、数字キーボードのキーは数字以外は入力できません。Number Lockキーを押してLEDをOFFにしてください。

? ディスプレイに画像が何も表示されない。

- ディスプレイの電源がONになっていることをご確認ください。
- ディスプレイがコンピューターのビデオ出力ポートに正しく接続されていることをご確認ください。
- コンピューターにディスクリットビデオカードが搭載されている場合は、ディスプレイをディスクリットビデオカードのビデオ出力ポートに接続してください。
- ディスプレイのビデオコネクターのピンが曲がっている、破損している場合は、ディスプレイのビデオコネクターケーブルを交換します。
- ディスプレイが電源に正しく接続されていることをご確認ください。
- ディスプレイに付属のドキュメントを参照し、問題を解決してください。

? 複数のディスプレイの使用時、ディスプレイ1台にしか画像が出力されない。

- ディスプレイ2台とも電源がONになっていることをご確認ください。
- デュアルディスプレイ出力はWindows環境でのみ利用可能です。
- ビデオカードをコンピューターに装着している場合は、ディスプレイをそのビデオカードの出力ポートに接続してください。
- マルチディスプレイ設定に誤りがないことをご確認ください。詳細はChapter 3セクション「複数の外付けディスプレイの接続」をご確認ください。

? コンピューターがUSBストレージデバイスを検出しない。

- コンピューターにUSBストレージデバイスを初めて接続した場合、Windowsは自動的に専用ドライバーをインストールします。暫くしてからマイコンピューターでUSBストレージデバイスが検出されているかをご確認ください。
- USBストレージデバイスを他のコンピューターに接続し、USBストレージデバイスが故障していないことをご確認ください。

? HDテレビの画像が歪む。

- ディスプレイとHDテレビの解像度の設定が異なることが原因です。次の手順で画像解像度をHDテレビの解像度と同じに設定してください。
スタートメニューから「設定」→「システム」→「ディスプレイ」の順に開きます。

? スピーカーから音が出ない。

- スピーカーをフロントパネルまたはバックパネルのライン出力ポート（ライム）に接続します。
- スピーカーが電源に接続され、スピーカーの電源がONであることをご確認ください。
- スピーカーの音量を調節します。
- デスクトップモード画面から、コンピューターのシステム音量がミュートになっていないことをご確認ください。
 - ミュートになっている場合はアイコン  が表示されます。ミュートを解除するにはWindows通知領域のアイコン  をクリックし、 をクリックします。
 - ミュートになっていない場合は、アイコン  をクリックしスライダーで音量を調節します。
- スピーカーを他のコンピューターに接続し、スピーカーが故障していないことをご確認ください。

? 光学ドライブがディスクを読み込まない。

- レーベルが上を向いた状態でディスクが挿入されていることをご確認ください。
- 標準サイズ・設計ではないディスクの場合は特に、ディスクがトレイの中央にセットされていることをご確認ください。
- ディスクに傷やダメージがないことをご確認ください。

? 光学ドライブの取り出しボタンが応答しない。

- 「エクスプローラー」へアクセスします。
- 光学ドライブのアイコンを右クリックし、メニューから「取り出し」を選択します。

電源

問題	考えられる原因	解決策
電源がONにならない (電源インジケータOFF)	電圧が適合していない	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターの電源ユニットに電圧切替スイッチが存在する場合、地域の電圧に正しくセットされているかを必ず確認する• 電圧切替スイッチの設定変更は、必ず電源コードをコンセントから抜いた状態で行う
	コンピューターの電源がOFF	フロントパネルの電源ボタンを押し、コンピューターの電源をONにする
	コンピューターの電源コードが正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none">• 電源コードが正しく接続されていることを確認する• 他の互換性のある電源コードを使用する
	PSU (電源ユニット) の問題	電源装置の修理はASUSサービスセンターに依頼する

ディスプレイ

問題	考えられる原因	解決策
コンピューターをONにしてもディスプレイに画像が出力されない(黒い画面)	信号ケーブルがコンピューターの適切な映像出力ポートに接続されていない	<ul style="list-style-type: none">• 信号ケーブルをコンピューターの適切な映像出力ポートに接続する(オンボード映像出力ポートまたはディスクリート映像出力ポート)• ディスクリートビデオカード使用時は信号ケーブルをディスクリートビデオポートに接続する
	信号ケーブルの問題	<ul style="list-style-type: none">• 他のディスプレイに接続してみる• 別の信号ケーブルに交換してみる

LAN

問題	考えられる原因	解決策
インターネットにアクセスできない	LANケーブルが接続されていない	LANケーブルをコンピューターに接続する
	LANケーブルの問題	LAN LEDのONを確認する。OFFの場合は他のLANケーブルを使用する。問題が解決しない場合は、ASUSのサービスセンターに連絡する。
	コンピューターがルーター/ハブに正しく接続されていない	コンピューターをルーター/ハブに正しく接続する
	ネットワーク設定	インターネットサービスプロバイダー (ISP) に正しいLAN設定を確認する
	アンチウイルス・ソフトウェアが原因で発生しているトラブル	アンチウイルスソフトウェアを終了する
	ドライバーの問題	LANドライバーを再インストールする

オーディオ

問題	考えられる原因	解決策
音声が出力されない	スピーカー/ヘッドホンが正しいポートに接続されていない	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターのユーザーマニュアルを参照し、正しいポートに接続する スピーカーを一度外し、再度コンピューターに接続する
	スピーカー/ヘッドホンが動作しない	他のスピーカー/ヘッドホンを使用する
	フロント/バックパネルのオーディオポートが動作しない	フロント/バックパネルのオーディオポート両方を使用する。ポート1基のみ機能しない場合は、マルチチャンネルに設定されていないか確認する
	ドライバーの問題	オーディオドライバーを再インストールする

システム

問題	考えられる原因	解決策
システムの処理速度が遅い	起動中のプログラムが多すぎる	いくつかのプログラムを終了し、起動中のプログラムの数を減らしてみる
	ウイルスの攻撃	<ul style="list-style-type: none">アンチウイルスソフトウェアでシステムスキャンを実行し、ウイルスを駆除するリカバリーを試す
フリーズする	内蔵記憶装置の不具合	<ul style="list-style-type: none">内蔵記憶装置のメンテナンスをASUSサービスセンターに依頼する
	コンピューターの通気が足りない	コンピューターの設置場所を変える
	互換性のないソフトウェアの使用	リカバリーを実施し、互換性のあるソフトウェアをインストールする

CPU

問題	考えられる原因	解決策
コンピューター 起動直後のノイズ	コンピューターが起動中	正常なノイズ。コンピューター起動時はファンがフル回転し、OS起動後はファンの回転数は下がる
	BIOS設定の変更	BIOSをデフォルト設定に戻す
	BIOSバージョンが古い	最新のBIOS/バージョンに更新する。最新バージョンはASUSオフィシャルサイトでダウンロード可能。 http://www.asus.com/jp/support/
コンピューター 使用時のノイズ	CPUファンの故障	CPUファンが故障した場合、サービスセンターに修理を依頼する
	コンピューターの通気が足りない	コンピューターの設置場所を変える
	システム温度の上昇	<ul style="list-style-type: none">• BIOS更新• ケース内部のメンテナンス (注意: マザーボードの取り付け方を熟知している場合のみ)



問題が解決しない場合は、デスクトップPCの保証書に記載のASUSサービスセンターにご相談ください。サービスセンターの情報はASUSサポートサイトでご確認ください。
<http://www.asus.com/jp/support/>

